

第374憲兵中隊、軍用犬Fフロリダの引退式を実施 374th SFS hosts retirement ceremony for MWD Fflorida

March 4, 2024

By Senior Airman Manuel G. Zamora
374th Airlift Wing Public Affairs

横田基地で2月23日、第374憲兵中隊主催による軍用犬Fフロリダの引退式が行われた。

Fフロリダは、数多くの任務で功績を残した。任務歴には、30回におよぶ米国シークレットサービスでの任務や米国大統領の警護もある。爆発物探知とパトロールにおいて素晴らしい実績を上げ、対テロ対策警備に200回以上、巡回パトロールに1,200回、管理区域でのパトロールに603回出動した。

(写真1)2月23日、第374憲兵中隊軍用犬Fフロリダと記念撮影をする同中隊司令グレン・バウアーソックス中佐(左)とアンドレア・ディッケル軍曹。

Fフロリダは、パトロールおよび爆発物探知を専門とする軍用犬として8年間任務した。



1

(写真2)引退式に臨む第374憲兵中隊軍用犬のFフロリダ。

最初の軍用犬部隊は第二次世界大戦中に創設され、1966年にはアンドリュース空軍基地に所属する4つの哨戒犬チームがパトロール犬として訓練された。



2

(写真3)Fフロリダに、ホイップクリームを与える第374憲兵中隊軍用犬ハンドラーのアンドレア・ディッケル軍曹。



3